

外洋合同委員会 開催の主旨

■全国一つの組織から加盟団体は独立団体へ

NORC 時代は各地の支部はあくまでも支部で全国組織は 1 つの団体でした。よって全国統一的な規則や規定の運用は容易でした。しかし JSAF への統合後、各地の支部はそれぞれ加盟団体という独立した団体となりました。JSAF の加盟団体という共通点がありますが、個々の加盟団体は組織上無関係の団体となりました。

従って、全国の外洋系加盟団体が集うような公式な会議は JSAF には存在せず、外洋系加盟団体を横に貫くような会議は JSAF の各委員会にしか存在しないのが現実です。

■改めて全国統一運用のために

委員会毎の会議を開催してはいましたが、全ての委員会に出席するために何度も出張をしなければならないため、大変不効率でそのためか各委員会の出席率も低いことが続くようになり、規則や規定の運用の全国的な周知が行き渡らなくなりつつありました。

こういった現状を打破し、全ての外洋加盟団体および特別加盟団体が全国統一的な規則や規定の運用を行うために、2009 年度に外洋計測委員会が中心となり、外洋系委員会の合同会議が始まりました。

■公平感のある円滑なレース運営を目指して

本会議の目的は「公平感のある円滑なレース運営」を目指すことにあり、そのための「各種規則や規定の解釈、統一された見解等についての説明」と「そのための加盟団体・特別加盟団体の役割の説明」が会議の内容の中心となります。

レース開催に必要な情報を持ち帰り、加盟団体会員に適切に告知して頂き主催者も参加者も納得できるレース運営が実施されることが望まれます。

また全国の外洋系加盟団体が集う貴重な会議ですので、各地の現状報告を頂くとともにセーリング界の将来像を検討する時間を設けたいとも考えています。

【2013 年度の全国合同委員会（外洋合同委員会会議）実績】

開催日：2014 年 2 月 1 日-2 日

開催場所：函館（協力：加盟団体 外洋津軽海峡、南北海道外洋帆走協会）

出席者：全 61 名。

団体別出席数：県ヨット連盟＝3。外洋加盟団体＝15。特別加盟団体＝10。